

平成28年度

田原本町教育委員会活動点検評価報告書

(平成27年度実施事業分)

平成29年2月

田原本町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、平成27年度に田原本町教育委員会が実施した教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果について報告します。

平成29年2月22日

田原本町教育委員会

目 次

○はじめに	1
○教育委員会の運営・活動状況	2
○点検・評価項目	
・ 幼児教育の推進	3
・ 小・中学校教育の推進	5
・ 特別支援教育の推進	7
・ 学習体制の充実	9
・ 生涯学習環境の充実	11
・ 図書館事業の充実	13
・ 文化活動の促進	15
・ スポーツに親しむ環境の整備	17
・ スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	19
・ 文化財保護事業	21
・ 唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	23

I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、田原本町教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

II 点検・評価の基本方針

1 点検・評価の目的

法改正を受け、町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行状況を自ら点検・評価し、その結果を議会に報告するとともに、住民に公表することといたしました。

この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「田原本町第3次総合計画」第2章「人が生きいきと輝くまなびのまちづくり」の教育関連施策を点検・評価の対象としました。

点検・評価の対象年度は、平成27年度です。

- (1) 田原本町教育委員会の運営・活動状況
- (2) 「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価(11施策)

3 点検・評価の方法

「田原本町第3次総合計画」に基づく施策体系ごとに、進捗状況の参考となる指標及び実施事務事業の実績を掲載しています。

上記の指標及び実施事務事業の実績を基に、教育委員会で点検・評価を行います。評価にあたっては、客観性を確保するために、外部の学識経験を有する方から施策や事業についてご意見をいただいております。

【点検評価委員】

(敬称略 五十音順)

役 職	氏 名	備 考
委 員	鍛田 芳嗣	学識経験者(行政経験者)
委 員	住本 友成	学識経験者(教職経験者)

田原本町教育委員会の運営・活動状況

1 教育委員

(平成28年 3月31日現在)

職名	氏名	職業	就任年月日	任期満了年月日
委員長	田部井紀美子	無職	H23. 12. 22	H31. 12. 21
委員	宮本 安男	会社員	H24. 12. 23	H28. 12. 22
委員	上田 喜代子	無職	H27. 9. 22	H31. 9. 21
委員	吉川 眞司	会社員	H28. 3. 18	H29. 12. 23
委員(教育長)	片倉 照彦	公務員	H22. 9. 8	H29. 3. 31

2 教育委員会議の開催状況

- ・教育委員会定例会……10回
- ・教育委員会臨時会……1回

3 教育委員会議の審議状況

- ・報告事項……17件
- ・審議事項……23件

4 教育委員の活動状況

- ・定期学校訪問実施(年1回)……幼稚園5園・小学校5校・中学校2校
- ・幼稚園・小学校・中学校行事への参加……入園式・入学式・運動会・卒園式・卒業式及び各種研究会等
- ・各種研修会への参加……近畿市町村教育委員研修大会(和歌山市)・人権教育各種研究大会・青少年健全育成各種研究大会等
- ・各種行事への参加……成人式等

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	幼児教育の推進	総合計画位置づけ	2-1-1
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	幼児の心身の健全な発育を促すため、幼稚園・保育園・家庭が連携し幼児教育の充実を図る。また、保護者の経済的負担を軽減することにより、多くの園児が充実した幼児教育を受けることができ、保護者も経済的な不安を感じないで通園させることができる。
施策概要	幼児教育の整備。就学前教育の推進。安心・安全な幼児教育の創出。幼児教育の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公立・私立幼稚園就園率 対象年齢者に対する公立・私立幼稚園の園児在籍率	%	60	60	60	60	60
		56	—	—	—	—
② 保育園・小学校との連携回数 合同運動会や音楽鑑賞会等 交流・連携回数	回	53	58	58	58	58
		53	—	—	—	—
③						
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	240,007	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園施設管理整備事業	教育総務課	12,108	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園教育振興事業	教育総務課	4,398	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		256,513			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	小・中学校教育の推進	総合計画位置づけ	2-1-2
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	児童・生徒及び保護者にとっても、安全で安心できる学校に通学することにより、確かな学力の定着を図るとともに、体力を向上させ、心豊かな人間性を育む。
施策概要	教育環境の整備。職業観や人生観の醸成。教育体制の確立。安心・安全な教育環境の整備。関係機関との連携。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 学校施設の耐震化率	%	100	100	100	100	100
		強度を確保している学校施設 (小学校5校・中学校2校)の割合	100	—	—	—
② 小学校不登校児童数	人	4	4	4	4	4
		1年間に連続して又は断続して30日以上欠席した児童数 (学校基本調査)	9	—	—	—
③ 中学校不登校生徒数	人	12	11	11	11	11
		1年間に連続して又は断続して30日以上欠席した生徒数 (学校基本調査)	17	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費(決算額)	必要性の点検	目標達成状況の点検	実施内容方法の点検
小学校運営事業	教育総務課	104,265	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校施設管理整備事業	教育総務課	70,605	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
学校給食事業	教育総務課	82,362	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	22,291	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	1,022	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校運営事業	教育総務課	43,239	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校施設管理整備事業	教育総務課	10,370	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	5,216	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	5,793	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
事務局運営事業(一部)【ALT派遣事	教育総務課	7,790	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		352,953			

3. 施策の分析

達成度 (目標の達成状況はどうか)	<input type="radio"/> A 最終目標(H28)達成に向け、計画を大きく上回る成果があがっている <input checked="" type="radio"/> B 最終目標(H28)達成に向け、順調に成果があがっている <input type="radio"/> C このままでは、最終目標(H28)達成が難しい 児童・生徒の学力向上を目指し、基礎・基本の学習に取り組んでいる。引き続き一人ひとりを大切に学習を進めていきたいと考えている。また、耐震化工事に関しては、学校施設耐震化計画により順調に工事が完了している。
必要性 (ニーズは今後どう変化するか)	<input checked="" type="radio"/> A ニーズ及び解決すべき課題は、増加する方向にある <input type="radio"/> B ニーズ及び解決すべき課題は、現状と変わらない <input type="radio"/> C ニーズ及び解決すべき課題は、減少する方向にある 児童・生徒が一日の大半を過ごす校舎の老朽化対策や食物アレルギー対策をはじめ、地産地消などの食育を推進する必要がある。
施策を進める上での問題点・課題	(説明) 社会状況の変化に伴い、児童・生徒の規範意識が低くなり、基本的な生活習慣が乱れやすい傾向にある。また、大半の建物が建築後30年以上経過して、施設の老朽化が進行しており、財源の確保が課題となっている。

4. 次年度の展開方針[部としての判断]

施策の方向性	[複数選択可] <input type="checkbox"/> 重点化して推進 <input type="checkbox"/> 内容を見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (現状の水準を維持する)				
(説明)	児童・生徒が将来を見据え、基本的な生活習慣の確立を図るとともに、意欲的に学習に取り組むことができるよう教育内容や教育環境の整備に努めて、安心して教育を受けることができる環境を整える。				
施策を構成する主要な事務事業の方向性	事務事業名	H27年度決算	H28年度予算	優先性	H29に向けた経営資源(事業費)の方向性
	小学校運営事業	104,265	110,183	3	現状のまま
	小学校施設管理整備事業	70,605	30,026	4	現状のまま
	学校給食事業	82,362	75,631	3	現状のまま
	小学校教育振興事業(一部)	22,291	11,241	3	現状のまま
	小学校サポート体制支援事業(一部)	1,022	8,921	3	拡大
	中学校運営事業	43,239	53,665	3	現状のまま
	中学校施設管理整備事業	10,370	24,074	3	現状のまま
	中学校教育振興事業(一部)	5,216	12,077	3	現状のまま
	中学校サポート体制支援事業(一部)	5,793	7,521	3	現状のまま
	事務局運営事業(一部)【ALT派遣事業】	7,790	7,790	3	現状のまま
	【新規】	—	—		—
		—	—		—
	計	352,953	341,129		
内部評価のコメント	児童・生徒が一日の大半を過ごし、地域の避難所となる学校施設は耐震補強工事の実施により、安心・安全な環境となり、災害時の避難所としての機能も十分に発揮することができる。いじめ・不登校については、目標を下回る形となっており、全教職員での情報の共有・関係機関との効果的な連携などを強化して、指導の徹底を図る必要がある。また、学校給食では、食材の産地を公表し、地場産の野菜を給食に用いるなど地産地消を進めて、美味しく安心・安全な提供に努めている。				
外部評価委員のコメント	地区別将来人口推計なども踏まえながら、学校施設の老朽化対策について取り組んでいただきたい。また、教育環境が多様化するなか、学校と家庭・地域や関係機関等との連携やスクールカウンセラー・支援員の効果的な活用を期待する。学校給食では、食材の安全により一層配慮しながら、地場産の食材を積極的に取り入れ、栄養とバランスの取れた美味しい給食を提供するなど児童の食に関する関心と理解を高めながら、学校から家庭への情報発信も進めていただきたい。また、中学校での給食を早急に実施していただきたい。				

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	特別支援教育の推進			総合計画位置づけ	2-1-3
部名	教育委員会	主担当課名	教育総務課	担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、広汎性発達障害(PDD)などを含めて、障害のある幼児・児童・生徒がいきいきした学校生活を送る。
施策概要	幼児・児童・生徒に対して個々の発達に応じた適切な教育の推進。就学の支援。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 通級指導教室活用量 通級指導教室を活用している人数	%	11	12	12	12	13
		21	—	—	—	—
② 特別支援教育コーディネーターの学校配置率 特別支援教育コーディネーターの小学校・中学校への配置率	人	100	100	100	100	100
		100	—	—	—	—
③ 特別支援教育支援員の学校配置率 特別支援教育支援員の小学校・中学校への配置率	人	100	100	100	100	100
		100	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況 の点検	実施内容方法の 点検
小学校教育振興事業(一部)	教育総務課	1,036	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校教育振興事業(一部)	教育総務課	293	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
幼稚園運営事業(一部)	教育総務課	12,435	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
小学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	9,539	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
中学校サポート体制支援事業(一部)	教育総務課	5,534	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		28,837			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	学習体制の充実	総合計画位置づけ	2-2-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	学びたい人が学びたい時に学べるよう、様々な学習の機会や情報を提供し、人と人との繋がりを広げるとともに、自己を向上させることで地域・町づくりに繋げる。
施策概要	各種教室・講演会・地区別懇談会等を開催して、様々な学習機会を提供する。また、子どもを対象とする教室を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 教室の開催数(公民館学習・放課後子ども教室・子ども科学教室等) (説明) 年間に開催した教室の数	回	300	300	300	300	300
		388	—	—	—	—
② 子ども文化教室開催数 (説明) 年間の教室開催回数	回	59	59	59	59	59
		40	—	—	—	—
③ 子ども文化教室参加者数 (説明) 年間の参加者数	人	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
		781	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
公民館学習事業	生涯教育課	6,548	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
青少年健全育成推進事業	生涯教育課	9,316	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
人権教育指導事業	生涯教育課	3,939	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		19,803			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	生涯学習環境の充実	総合計画位置づけ	2-2-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす 成果目的	安全で快適に利用できる施設環境の充実を図ることにより、住民の学習活動が活性化する。
施策概要	田原本青垣生涯学習センターは、生涯学習施設として町民の方々に活用されており、安全・快適に利用できるように、環境整備を行う。また、学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において、地域住民に開放する。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 公民館の利用件数	回	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		(説明) 年間の公民館の利用件数	4,084	—	—	—
② 学校開放利用件数	件	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		(説明) 休日・夜間に小・中学校を住民 に開放している年間件数	3,428	—	—	—
③						
		(説明)		—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
生涯学習センター管理事業	生涯教育課	94,782	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
計		94,782			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	図書館事業の充実			総合計画位置づけ	2-2-3
部名	教育委員会	主担当課名	図書館	担当課名	—

1. 施策概要

めざす 成果目的	町民が読書の楽しみを知り、趣味や生きがいを持って豊かな生活が送れるように資料を提供し、自発的な学習の支援を行うと共に、地域の情報拠点としての図書館サービスの充実を図る。
施策概要	郷土資料を含む多種多様な分野の資料を収集し、蔵書の充実を図る。学校等と連携を図り、子どもの読書活動を推進する。各種講演会や広報活動を行い、利用の促進を図る。多様なレファレンスに対応するため、資料に精通した職員の育成に努める。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 蔵書冊数	冊	193,972	198,972	203,972	208,972	213,972
		(説明) 年度末の蔵書冊数	200,254	—	—	—
② 貸出冊数	冊	582,800	582,800	582,800	582,800	582,800
		(説明) 年間の個人・団体・相互貸借 貸出し冊数	475,875	—	—	—
③ 登録率	%	55	55	55	55	55
		(説明) 町民の図書館利用カード登録 率	60	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
図書館収集提供事業	図書館	18,610	A:高い(義務)	C:目標とする成果 が得られなかった	B:見直す余地があ るが時間が必要
子ども読書活動推進事業	図書館	109	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地があ るが時間が必要
図書館利用促進事業	図書館	0	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地があ るが時間が必要
図書館運営管理事業	図書館	8,214	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地があ るが時間が必要
計		26,933			

施策評価シート(対象:H26年度実施施策)

施策名	文化活動の促進			総合計画位置づけ	2-2-4
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課	担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす 成果目的	弥生の里ホールの利用促進を図り、住民が多様な文化・芸術に触れられる機会を提供する。
施策概要	弥生の里ホールでは、質の高いイベントを開催する。また、文化団体や社会教育関係団体の文化に関わる活動を支援し、日頃の文化活動の発表の場として文化祭を開催する。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 弥生の里ホール利用件数	件	240	240	240	240	240
		(説明) 年間の利用件数	405	—	—	—
②			—	—	—	—
		(説明)		—	—	—
③			—	—	—	—
		(説明)		—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
文化活動推進事業	生涯教育課	4,507	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
弥生の里ホール運営事業	生涯教育課	3,052	B:普通	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		7,559			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	スポーツに親しむ環境の整備	総合計画位置づけ	2-3-1
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす 成果目的	体育施設の維持管理に努め、住民が身近な地域で安全にスポーツが行えるようにする。
施策概要	住民のスポーツ活動の拠点として、各体育館・健民運動場及びテニスコート等の環境の整備を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 体育館利用件数 <small>(説明) 中央体育館、やすらぎ体育館 の年間利用件数</small>	件	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
		2,686	—	—	—	—
② テニスコート利用件数 <small>(説明) テニスコートの年間利用件数</small>	件	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		1,666	—	—	—	—
③ 健民運動場利用件数 <small>(説明) 健民運動場の年間利用件数</small>	件	250	250	250	250	250
		360	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
体育施設管理事業	生涯教育課	28,780	A:高い(義務)	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
計		28,780			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動の普及・啓発	総合計画位置づけ	2-3-2
部名	教育委員会	主担当課名	生涯教育課
		担当課名	生涯教育課

1. 施策概要

めざす成果目的	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の住民が、多種多様なスポーツに親しめるよう、関係機関と連携し、気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できるようにする。
施策概要	卓球やバドミントン等のスポーツ教室の開催や春・秋の総合競技大会、町民マラソン・駅伝大会を開催する。また、親子バレーボール大会や歩こう会を開催し、体育協会、スポーツ少年団への助成を行う。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① スポーツ教室開催数 <small>(説明) テニス・ソフトテニス・ジュニア サッカー・バドミントン・卓球等</small>	回	250	250	250	250	250
		190	—	—	—	—
② 健康スポーツの集い開催数 <small>(説明) 誰でもが参加できる健康ス ポーツの集いの年間開催回数</small>	回	2	2	2	2	2
		2	—	—	—	—
③ 健康スポーツの集い参加者 数 <small>(説明) 健康スポーツの集いの参加者 合計人数</small>	人	60	60	60	60	60
		69	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
社会体育振興事業	生涯教育課	4,818	B:普通	A:目標よりも大きな 成果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
スポーツ教室開催事業	生涯教育課	1,259	B:普通	A:目標よりも大きな 成果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
春・秋総合競技大会開催事業	生涯教育課	2,136	B:普通	B:概ね目標の成 果が得られた	B:見直す余地がある が時間が必要
マラソン・駅伝大会開催事業	生涯教育課	849	B:普通	C:目標とする成果が 得られなかった	B:見直す余地がある が時間が必要
計		9,062			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	文化財保護事業			総合計画位置づけ	2-4-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課	担当課名	—

1. 施策概要

めざす 成果目的	文化財保護の精神と認識を深め、国・県・町指定の有形文化財及び史跡を後世まで貴重な財産として残す。
施策概要	唐古・鍵遺跡と黒田大塚古墳内の公有地の管理及び史跡の現状変更等、進達業務。その他国・県・町指定文化財所有者に防犯、防災の指導。

2. 実施結果

指標名 説明	単 位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 指定文化財等の見回り・点検回数(回)	回/ 年	36	36	48	48	48
		指定文化財等が適切な状態であるかの見回り年間回数	48	—	—	—
② 町文化財指定件数(累計)	件/ 年	7	8	9	9	10
		町が指定する文化財累計件数	8	—	—	—
③						
			—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
文化財保護事業	文化財保存課	12,761	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		12,761			

施策評価シート(対象:H27年度実施施策)

施策名	唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	総合計画位置づけ	2-4-2
部名	教育委員会	主担当課名	文化財保存課
		担当課名	—

1. 施策概要

めざす成果目的	ミュージアムの来館者が快適に観覧でき、満足していただけるようにする。また、文化財に対する理解・愛着を深め、学習意欲・愛護精神を育成する。
施策概要	ミュージアムの適切な管理や受付業務を行う。イベントや企画展、講座等を開催し、情報発信を行う。また、小学校の総合的な学習など学校の支援をする。

2. 実施結果

指標名 説明	単位	H27年度	後期基本計画目標 H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)	(目標/計画)
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
① 唐古・鍵考古学ミュージアム入館者数(人) 常設展・企画展の年間入館者数	人/年	7,500	3,700	4,000	12,000	12,000
		8,133	—	—	—	—
② 総合的な学習 項目別実施回数(回) 町内小学校6年生を対象とした総合的な学習授業項目数の年間合計	回/年	23	23	20	20	20
		19	—	—	—	—
③ 唐古・鍵考古学ミュージアムのホームページアクセス件数(件) HP年間アクセス件数	件/年	15,000	15,000	15,000	17,000	17,000
		15,857	—	—	—	—

施策を構成する主な事務事業の評価結果(評価対象年度H27年度)

事務事業名	担当課名	H27年度事業費 (決算額)	必要性の点検	目標達成状況の 点検	実施内容方法の 点検
唐古・鍵考古学ミュージアム運営事業	文化財保存課	5,331	A:高い(義務)	B:概ね目標の成果が得られた	B:見直す余地があるが時間が必要
計		5,331			

